

# 国際文書館評議会東アジア地域支部セミナー

## 参加報告 I

2000年10月29日から11月4日まで、中華人民共和国の廈門（アモイ）市で、EASTICA（国際文書館評議会東アジア地域支部）のセミナーが開催された。全史料協からは、沖縄県公文書館公文書主任専門員富永一也氏と国際交流委員会事務局から横浜開港資料館調査研究員石崎康子の2名が参加した。

セミナーの参加者は60名を超えた。各国の参加者数をみてみると、今回は開催国が中国であったということもあり、中国からの参加者が最も多く、30名以上が参加していた。香港から5名、韓国から11名、マカオから3名、モンゴルから5名、北朝鮮から3名の参加があった。

現在EASTICAに加盟している日本の団体は、国立公文書館（カテゴリーA）と企業史料協

（カテゴリーB）、今回加盟が認められたユタ系図協会東京支部図書館（カテゴリーC）、そして全史料協（カテゴリーB）の4団体である。今回は、国立公文書館から通訳者1名を含め3名、個人1名、全史料協から2名、計6名の参加であった。

セミナーは、「電子的な公文書館資料の管理についての戦略」というテーマで行われた。オーストラリア、ニューサウスウェールズ州立公文書館のトニー・ニュートン氏と、シンガポール国立公文書館館長ピット・クワンワー氏を講演の発表者に迎え、また各国の電子記録管理政策の状況報告をおこなうという内容であった。廈門市のマンダリン・ホテルを会場に開催されたセミナーの日程と内容は下記の通りである。



<p style="text-align: right;">18:30～</p>	<p>(4)大韓民国 韓国政府記録保存所 キム・ジェスン氏 金才淳 「韓国における電子政府プロジェクト及び立案中の電子記録管理政策」</p> <p>(5)マカオ マカオ特別行政区政府歴史档案館館長 マリア・ファティマ・ロウ氏 MS. Maria Fatima LAU 「電子記録管理の状況」</p> <p>(6)モンゴル モンゴル国立文書館館長 デンベレル・ウルシイバタ氏 Dr. Demberel ULZIIBAATAR 「電子記録の作成及び保管についてのモンゴル公文書館の考え」</p> <p>(7)中華人民共和国 中国国家档案局技術局局長 ワン・リヤンチェン氏 王良城 夕食</p>
<p>11月2日(木) 9:00～12:30</p> <p style="text-align: right;">12:30～14:30 14:30～15:30 15:45～17:00 17:00～17:30</p>	<p>講演Ⅲ (議事：サラ・チョイ氏 蔡長貞)</p> <p>(1)香港特別行政区政府档案処歴史档案館 ワン・ワイクウォック氏 温偉国 「壮大な旅の第一歩：デジタル情報管理と一事務家の経験」</p> <p>(2)前EASTICA議長特別補佐 玄羽昭氏 「行政改革と統合的な文書管理システムの確立：電子公文書館資料管理に関連して」</p> <p>(3)イーストマン・コダック社 統括本部長 マイケル・バレット氏 Mr. Michael Barrett 「デジタル文書管理システム」</p> <p>昼食</p> <p>講演Ⅳ 総括 (議長：リ・サンミン氏 李相敏氏) EASTICA活動報告 (議長：サイモン・チュウ氏 朱福強) 閉会式</p>
<p>11月3日(金)</p>	<p>廈門市内見学</p>
<p>11月4日(土)</p>	<p>参加者帰国</p>

今回全史料協がEASTICAセミナーに参加者を送った目的は、二つあったと思う。一つはセミナーのテーマである電子記録に関する諸発表を聞き、見て、その意義を全史料協の会員に伝えることであり、もう一つは、EASTICAの運営についての見解を持ち帰るというものであった。

5日間の日程は無事終了した。

目的の一つであった電子記録についての情報収集と会員への還元という点については、富永氏の報告をご覧いただきたい。また諸発表に関する資料については、国際交流委員会事務局へお問い合わせいただきたい。

ここでは第二の目的であるEASTICAの運営

について私見を述べてみたい。

EASTICAは、東アジア地域における史料の保存と管理・活用に関して、各国・各地域の文書館が協力していくことを目指して組織された団体であり、今回のセミナーも、その活動の一つとして開催された。今回は、開催国が中国であったこともあり、韓国・北朝鮮両国の代表団が参加した。韓国のアーキビストの一人が、北朝鮮代表団とが初めて会談を持つ機会を得、互いの持つ資料について語り合うことができたと言っていた。我々の状況は非常にデリケートであるが、いつか相互協力を実現することを願っているという彼の言葉に、希望の灯を見たのは私だけではないと思う。

またゲスト報告者のトニー・ニュートン、ピット・クワンワ両氏の報告は、非常に興味深いものであったが、彼らのユーモアは、我々の廈門滞在をさらに楽しいものにした。アーキビストどうしの交流が協力の第一歩であるとするれば、EASTICAのセミナーや総会での暖かな交流は、参加各国の文書館活動に有意義であると思われる。

一方で、EASTICAの運営には問題も多い。

問題の一つは、運営に関する情報が極めて少ないという点であろう。例えば、我々全史料協は、EASTICAにおいてカテゴリーB会員であり、カテゴリーAが構成する理事会には参加できない。今回のセミナーでも、理事会は初日に終日行われたが、討議の内容については、セミナー開催前はもちろん、開催中にも、カテゴリーBメンバー以下の会員に知らされることはなかった。活動報告の際に伝えられた内容の一部が理事会の内容の一部であったかもしれないが、理事会の議事録が送られてくるまでは、不明である。1999年に香港で開催された総会の議事録は、1年たって今回のセミナー中に配布された。カテゴリーB以下の会員にとっては、前年の議論を踏まえた討論をすることは出来ないであろう。

またセミナー及び総会の際のテーマや、招聘する講演者等がどのような経緯で決定されたのかについての説明もない。香港で開催された総会の際、その年末には発行すると報告されたニュース・レターが未だに刊行されていないが、その理由も説明されなかった。

さらにカテゴリーB以下の会員が唯一発言することのできる機会であった活動報告の際に、参加者からの質問時間は設けられておらず、閉会を急ぐ議長を制して質問をしなければならなかった。全会員の意向を汲んだ議事運営が行われているとは言い難い。

会計に関しても問題は多い。今回のセミナー中、会計報告は、理事会に参加したカテゴリーAメンバーにのみ配布され、カテゴリーB以下のメンバーには配布されなかった。2000年12月には全会員に送るということであつた

が、ここ数年の会計報告をみていると、現会計担当者が就任した1997年以降の収入と支出を書き上げたもので、監査人の名も無い。会計年度は無いということで、もちろん予算も無く、決算も無い。早急に経理体制の改善が望まれる。

全史料協は、1993年の創立以来、カテゴリーBメンバーとしてEASTICAに参加してきた。初参加以来8年経つ。全史料協は、会費を支払い、ここ数年は、派遣に要する費用の半額を負担してきた。少なくない経費を支出し、参加する以上、全史料協は、EASTICAに参加することの意義について、改めて検討する時期にきているのではないだろうか。2001年9月には、EASTICAの第5回総会がソウルで開催される。日本から参加しているカテゴリーB会員の企業史料協と全史料協は、2票の投票権を持つ。全史料協が、今後も継続して参加することを選択するのであれば、有効な投票をするためにも、また今後のEASTICA参加をより有意義なものにするためにも、EASTICAの運営について積極的に発言していく必要があるであろう。

最後に、活動報告のレポートを紹介しておきたい。

## EASTICA活動報告

2000.11.2 EASTICA事務局長 サイモン・  
チュウ氏 朱福強

1996年から2003年までの活動について、7項目に分けて報告する。

### I 事務局

1999年から2003年まで4年間の新しい役員は1999年11月8日から12日まで香港で開催された第4回総会において、選出された。

会長：ナン・ヒョチュエ氏 南孝彩 韓国  
歴史保存所所長

副会長：マオ・フーミン氏 毛福民 中華人民  
共和国国家档案局局长

事務局長：サイモン・チュウ氏 朱福強  
香港特別行政区政府記録局長

会計：リ・サンミン氏 季相敏 韓国政府

記録保存所主任コンサルタント

理事：高岡完治 国立公文書館館長  
デンベレル・ウルシイバタ氏 Dr.  
Demberel ULZIIBAATAR  
モンゴル国立公文書館長  
マリア・ファティマ・ロウ氏 Ms.  
Maria Fatima LAU  
マカオ歴史档案館館長  
リ・ジョンファン氏 Mr. LI Jong  
Hwan  
朝鮮民主主義人民共和国国家文  
書局長

## II 定期会議

1996年から2000年までの間に、6回の理事  
会と1回の特別会議が開催された。

1996年9月2日(北京) 役員会  
1997年2月20日(香港) 役員会  
1998年5月9日(上海) 特別会議  
1998年9月21日(蘇州) 役員会  
1999年4月13日(大田 テジョン) 役員会  
1999年11月8日(香港) 役員会  
2000年10月30日(廈門) 役員会

次回役員会は、2001年9月にソウルで開  
催される予定である。

上記役員会の議事録は、2000年廈門での会  
合の議事録を除き、すべてのEASTICA会員に  
配布されている。受け取っていない会員や議  
事録を入手したい会員は、香港のEASTICA事  
務局に連絡されたい。

## III シンポジウム・会議・セミナー

1997年2月18～22日(香港) ワークショップ  
「文書記述の標準化」  
1997年10月14～17日(東京) 第3回総会  
「文書館発展の歴史と東アジア関係の歴  
史的保存文書について」  
1998年9月21～24日(蘇州) セミナー  
「アジアのアーキビストをめぐる教育と  
専門家としての育成」  
1999年11月9～11日(香港) 第4回総会  
「記録の評価選別」  
2000年10月29～11月4日(廈門) セミナー  
「電子的な公文書館資料の管理について

の戦略」

第5回総会は2001年9月にソウルで開催  
される予定である。会合のテーマについて  
は、追って決定される。テーマについての  
意見があれば、申し出て欲しい。(註1)

2002年のワークショップは、マカオで開  
催される予定である。

第6回総会は、2003年に北京で開催される。

## IV 出版

「East Asian Archives」第6号が刊行さ  
れた。第6号には、香港で開催された第4  
回総会の議事録が収録されている。  
EASTICAのホームページでも全ての記事を  
掲載する予定である。

## V 研究論文とプロジェクト

「EASTICA News letter」を年2回刊行予  
定である。第1号が来年早々刊行予定である。

EASTICAのホームページを公開している。  
アドレスは以下のとおりである。(註2)

<http://home.ust.hk/~hongkong/eastica/index.htm/>

EASTICA内に二つの特別委員会が設けら  
れている。文書交換委員会(Committee on  
Archival Exchange, 委員長マリア・ファティ  
マ・ロウ氏 Ms. Maria Fatima LAU マカオ歴  
史档案館館長)と文書自動化委員会  
(Committee on Archives Automation, 委員長  
ワン・ワイクウォック氏 温偉国 香港特  
別行政区政府档案処歴史档案館)の二つで  
ある。作業は進められており、進捗状況は  
追って報告される。

## VI 1996年から2000年までの会員数

カテゴリーA(国立文書館): 7  
カテゴリーB(アーキビスト専門家協会): 7  
カテゴリーC(機関会員): 12  
カテゴリーD(個人会員): 3  
カテゴリーE(名誉会員): 4  
役員会は、下記3機関からの入会申し込  
みを承認した。  
ユタ系図協会東京支部図書館(カテゴリーC)  
モンゴル・ウランバートル市立文書館(カテ  
ゴリーC)  
中華人民共和国蘇州市立文書館(カテゴ

－C)

## Ⅶ 規約改正

・EASTICAの規約改正については、1998年9月22日に中国の蘇州で開催された「セミナー（原文は総会）」の際の臨時会議で承認された。

・会員のカテゴリーを4つから5つに変更した。

カテゴリーA（国立文書館）

カテゴリーB（アーキビスト専門家協会）

カテゴリーC（機関会員）

カテゴリーD（個人会員）

カテゴリーE（名誉会員）

・カテゴリーBメンバーの投票権について  
アーキビスト専門家協会（カテゴリーB）は1票の投票権をもつ。カテゴリーBメンバーが2つ以上ある国については、2票目が与えられる。2票を投票する代表者の選出については、カテゴリーBメンバー内で調整をしなければならない。（註3）

・名誉会員の推薦と承認について  
名誉会員は、役員会において推薦され採択され、総会において決定される。

・役員会の任期について  
2年から4年に変更した。

・新会員の承認について  
新会員の承認については、役員会に委任する。

・ICAの規約の改正が検討されるなかで、地域部会の規約についても、ICAの規約の原



則と趣旨に沿うよう決定されているので、われわれEASTICAの規約についても、見直しを行い、改訂の必要な点がないかどうか検討している。一方EASTICAの規約の第7条によれば、改正の提案は、総会において全体の3分の2の賛成を得ることで可決されることになっている。改訂に関する全ての意見は、総会での議論のため、少なくとも総会の3ヶ月前までに、事務局長から全カテゴリーAのメンバーに通知される。

註1：1999年香港で開催された総会の際には、テジョン（大田）での開催が予定されており、国際交流委員会編「第4回国際文書館評議会東アジア地域支部(EASTICA)総会資料抄録」（以下「第4回資料抄録」）にも、大田（テジョン）での開催予定が報告されているが、ソウルに変更になった。

註2：「第4回資料抄録」にあるアドレスとは異なっている。

註3：カテゴリーA会員は、2票の投票権をもつ。

石崎康子